



# 石山報 はやま



平成28年(2016年)

## 12月号

### No.561



## 特集 だまされないプロになる!

特集記事 … 2

子育てひろば … 12

健康情報 … 14

教育委員会だより … 16

町からのご案内 … 18

年末年始のお休み … 19

でんごんぼん … 20

葉山いろいろ写真館 … 22

町長コラム … 23

表紙：南郷上ノ山公園でおしゃべりする  
石井さん夫妻と孫のみさきくん



## 特殊詐欺

とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく欺き、指定した預貯金口座への振込みやその他の方法により、不特定多数の人から現金などをだまし取る犯罪の総称です。

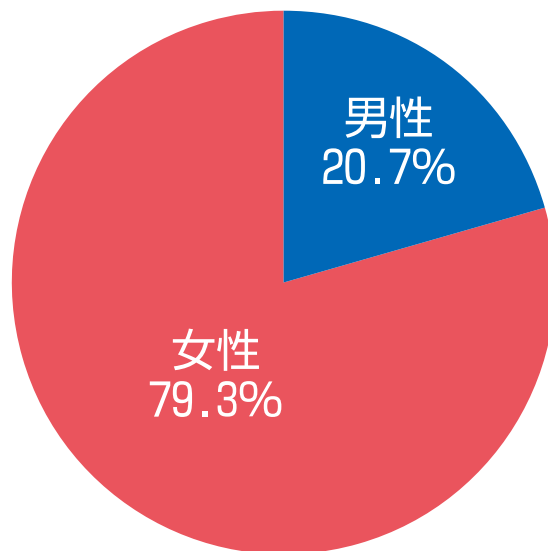
平成27年の全国での認知件数は、13,824件と前年に比べて400件以上増加し、被害総額は約482億円となっています。

## 特集

### だまされないプロになる

### 特殊詐欺の被害に遭いやすいのは？

# 60歳以上の女性



※平日の日中に在宅していることの多い女性が狙われています。  
(グラフは県警察の平成28年1～9月のオレオレ詐欺被害者の性別で、年齢は全て60歳以上)

### ●だましのプロ

電話で息子の名や金融機関の職員をかたってお金を要求する「振込め詐欺」や「架空請求詐欺」など、特殊詐欺の手口は多様化しています。

テレビや新聞などでも話題に挙がることから、皆さんも「特殊詐欺に関する知識」はある程度持っているはずですが、しかし、葉山町でも今年に入って4件の被害が出ています。

知識があるのにだまされてしまうのは、「相手がだましのプロ」だからです。

### ●だまされないプロ

詐欺の被害を受けないためには、知識だけでなく、実際に電話がかかってきた時にどんな対応をすべきか日頃から考え、実践できるようにすることが大切です。

狙われやすい高齢者、女性だけでなく、家族や地域も一丸となって「だまされないプロ」を目指しましょう。

# 詐欺被害未遂 町在住70代女性 Tさんの場合

今年の春、突然息子から「仕事でトラブルがあり、600万円ほど貸してほしい」と電話がありました。まずは驚いて、お金をどのくらい用意できるかを考えました。詐欺だと疑うよりも「なんとかしてあげないと！」という気持ちであせっていました。その後、5分おきくらいに息子の同僚や上司など5～6人から電話がありました。冷静になって考える時間はありませんでした。

しかしその日は夫も家にいて相談することができ、「これは詐欺だ!」とわかりました。私が犯人からの電話に出続け、一方で夫が警察に相談できたのです。そして犯人がお金を受け取りに家を訪ねてきたところを警察が逮捕しました。

夫婦二人でいたから冷静になることができ、被害を防げましたが、一人だったらお金を振り込んでしまっていたかもしれません。

今でも「なんでうちに電話があったのだろう?」、「なぜ私のだまされそうになったのだろう?」という気持ちもあるほどです。皆さんは、**他人事**だと思わず、「自分にもいつか必ず詐欺の電話がかかってくる」と思い、だまされない心構えを持ってほしいです。

## 私の体験談 (磯崎さんの場合)

「これは詐欺かも?」と思う電話が毎週のようにあります。疑わしい時は、すぐに断って切ること!また、電話機の電話番号表示を活用して、不審な番号はメモをし、二度目以降は出ないようにしています。さらに、町内会のサロン活動などで「こんな電話があった」、「こういう人は怪しいから気をつけて」などと情報交換することで、地域の人と一緒に詐欺に備えるようにしています。



民生委員としてお宅を訪問した時に、「今息子から電話があつてお金を用意しないと!」と慌てている人がいました。息子さんに連絡をとったら、電話はしていない、つまり詐欺であることがわかりましたが、いつも冷静でしっかりしている人でも引っこかかってしまう可能性があることがわかり、驚きました。それからは私の家も留守番電話に設定するという対策をとっています。



## 私の体験談 (宮川さんの場合)

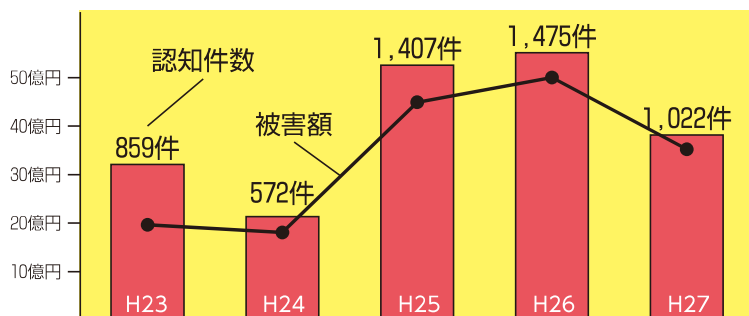
**●他人事ではない**

町内の特殊詐欺被害件数は、昨年の2件から、今年のは、4件(10月末時点)へと、倍増しています。

また、県内では平成23年の認知件数859件から、平成25年以降は1000件を超え続けています。

これだけ多くの人が毎年被害にあっているとすることは、「詐欺被害は**他人事**ではないこと」を意味します。

皆さん誰もが「だまされちゃう可能性」があることを意識しなくてはなりません。



(神奈川県警察の特殊詐欺の認知状況)

## ケース2

## 投資型詐欺

☎1回目：A社

「未公開株を買ってほしい」

☎2回目：金融庁職員を名乗る人

「最近、未公開株がらみの詐欺が多いが、勧誘電話は受けていないか？」

⇒A社のことを話すと、金融庁職員が「そこなら安心」と言うので買ってしまった。



金融庁などの公的機関が、未公開株などの取引に関与することはありません。電話での勧誘や儲け話があったら、まずは家族に相談しましょう。

色々な手口がありますが  
電話でお金を要求されたら  
必ず誰かに相談してください

特集

だまされないプロになる

電話×お金の要求  
＝特殊詐欺



# 手口の事例紹介

## ケース3

## 還付金詐欺

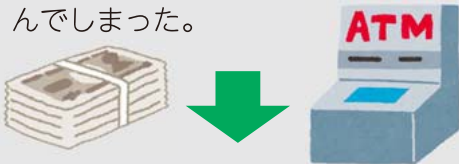
☎1回目：町役場職員を名乗る人

「保険料の払戻しがある。銀行から連絡するので支店を教えてほしい」

☎2回目：銀行職員を名乗る人

「保険料の払戻し期限は今日まで。支店窓口は非常に混んでいるので、近くのATMで手続きをしてください。」

⇒自宅近くのATMで言われるままに操作すると、犯人の口座に振り込んでしまった。



町役場や銀行など、誰からの電話であろうと、還付金などの払戻しをATMで手続きすることはありません！事前に通知などがなく、突然の電話で払戻しを説明されたら、町役場(☎876-1111)にかけ直してご確認ください。

また、聞かれるままに銀行の口座番号や暗証番号、預金残高などの個人情報を答えないでください。

## ケース1

## オレオレ詐欺

☎1回目：息子を名乗る人

「携帯を変えた。今かけている新しい番号を登録しておいてほしい」

☎2回目：息子（新しい番号）

「電車にカバンを忘れてしまった」

☎3回目：駅の職員を名乗る人

「お子さんのカバンが届けられた」

☎4回目：息子（新しい番号）

「今日支払うお金がカバンに入っていた。すぐ返すからお金を貸して。自分  
は行けないから同僚が取りに行く」

⇒息子の同僚にお金を渡してしまう



「携帯番号が変わった」という連絡があったら詐欺を疑いましょう。必ず前の携帯電話にかけて、事実を確認してください。また、家族以外に簡単にお金を渡してはいけません。

指示を受けても、代理人やバイク便へ手渡さないでください。



# 「私はだまされないと思わないで

## ケース5 商品送りつけ詐欺

☎1回目：健康食品業者

「申込みのあった健康食品を送る」と言われたので、頼んでいないと断ると、「注文時の記録がある」と強引に言われ、商品と請求書が届き、支払ってしまった。



申し込んだ覚えがないものは、きっぱり断りましょう。一方的に送りつけられた場合には受取りを拒否、もしくは一定期間であればクーリング・オフができるため、消費者ホットライン（☎188）などに相談しましょう。

## ケース4 オリピック詐欺

☎1回目：オリンピック財団

「東京オリンピックのチケットを300万円でお申込みいただいた」と言われたので、心当たりがないと答えると「あなたの個人情報が犯罪に利用されている。リストから消すには費用がかかる」と言われ、現金を郵送してしまった。



オリンピックの開催に便乗した手口は今後も増えることが予想されます。現金を郵送するよう指示されたら詐欺だと思うようにしましょう。

## 電話でこのキーワードが出たら要注意！

カバンを忘れた 示談金 携帯を変えた すぐに返す  
 借金の保証人 絶対に儲かる あなだけに 振込先の変更  
 還付金 ATMの操作 名義を貸して 同僚に渡して

## ケース7 架空請求詐欺

☒1回目：メールや文書で

「有料サイト利用料に未払いがある」⇒記載されている電話番号に問い合わせると振込先を案内され、それに従って支払った。



心当たりのない請求には応じないことが大切です。また、利用したかどうか判断できない場合には、警察署や町役場、各種相談窓口にご相談ください。町では、毎週消費生活相談の日を設けています。詳しくは、今月号の21ページをご覧ください。

## ケース6 マイナンバー詐欺

☎1回目：町役場職員を名乗る人

「マイナンバーカードの発行に手数料がかかる」と言われ、訪問に来た人にお金を渡してしまった。



マイナンバーの通知や利用などの手続きで町からお金を要求することはありません。「あなたのマイナンバーを貸してほしい」の依頼も詐欺です。他にも口座の暗証番号や預金額、家族構成なども簡単に他人に教えることはしないでください。



## 特集

だまされないプロになる

### ◆被害が倍増

今年の10月末時点での葉山町における特殊詐欺の被害は、4件で2320万円と、昨年の2件で約200万円に比べると大幅に増大しています。特に6月に集中して被害があったことで、葉山警察署としても、詐欺被害防止のための対策を強化しています。

6月以降の被害は出ていないものの、依然として息子や孫、町役場の職員などを装った電話はかかってきているのが現状です。

犯人の手法は巧妙で、次々と新たな手法を考える「だましのプロ」です。町民の皆さんには「私はだまされないから大丈夫」ではなく、どんな電話でも注意深く疑う習慣を持っていただきたいと思います。

### ◆放送を聞いたら

まずは注意喚起という点で、防災行政無線やスピーカーマーケットの店内放送で呼びかけています。これは「電話番号が変わった」と息子を名乗る電話があった、などと警察署に複数件通報があった場合に放送しているものなので、この放送を聞いたら「自分にも電話があるかも」と

### ◆関係機関と連携

注意していただきたいです。

特殊詐欺の防止には、金融機関との連携が必要です。町内の金融機関の皆さんには、「60歳以上の方が高額な預金を引き出す場合には、警察に連絡してください」とお願いしています。預金引出しの目的を話すことには抵抗のある方も多いと思いますが、金融



不安に思ったら、警察にご相談ください

すぐに駆けつけます

葉山警察署 猪俣 秀彦 署長



京浜急行バス逗子営業所の協力を得て、町内を走るバスにポスターを貼り、特殊詐欺の注意を呼びかけています。



今年10月のふるさとひろばでは、「安全・安心まちづくり旬間」の出陣式として、犯罪のない町を目指した周知活動を行いました。



警察署員による  
手作りの  
啓発キーホルダー

# 町民の皆さんを守りたい

## 警察署員の覚悟があります

機関の皆さんはもちろん、町民の皆さんにもご協力いただき助かっています。

### ◆息子は詐欺？

あなたのお子さんは、電話一本で「お金を貸して」と言うような人でしょうか？ 皆さん詐欺被害防止に関する知識はあり、冷静になればわかることも、いざという時には慌ててしまうものです。家にいる時も「電話は留守電にする」、家族から携帯電話の番号が変わったと言われたら「一度前の番号にかけてみる」など、ちょっとした対策で被害を防ぐことができそうです。詐欺の電話がかかってきたらこつ対応しよう、と日頃から考えてみましょう。

### ◆家族も地域も

両親と離れて暮らしている方は、日頃から親御さんに電話をしていますか？ 女性に比べ、男性はあまり電話をしないようなので、奥さんから旦那さんに伝えていただきたいですね。

また、家族だけでなく、同じ地域に住む皆さんにもお願いがあります。電話をしながらATMを操作している人などを見かけたら「何かお手伝いしましょうか？」などと声をかけてください。葉山には優しい方がたくさんいます。皆さんの優しい気持ちで、この町だから出来る詐欺被害の防止に取り組んでいきましょう。

### ◆本気です

私にとっても、親と同じ世代の方が被害にあわれていることは非常に悔しいことです。私たち警察は、町民の皆さんを詐欺被害から守りたい、その覚悟を持っています。金融機関での預金引出しの際に話を伺うことなどにより、皆さんにはご不便をおかけしていますが、「町民の皆さんを詐欺から守る」ための警察署の本気の覚悟です。小さな町で、お互いの顔が見えるからこそ、団結し、犯罪被害の少ない穏やかな町だからこそ、署員も「かゆいところ」に手が届くような対応を今後も心がけていきたいと思えます。



## 特集

だまされないプロになる

# 一人じゃない、地域のみんなで見守っています

用事はないけど電話する  
そんな家族の関係性を

葉山町防犯協会 岩澤会長



防犯協会では、警察署と連携してチラシを配り、詐欺被害防止の意識啓発を行っています。しかし皆さんチラシを見ても「振込め詐欺でしょ。わかっています！」と、なかなか自分事として受け取ってくれる人は多くありません。

特殊詐欺の被害を防ぐには、日頃から色々な人と交流することがおすすめです。町内会や長寿会、近所の人でも誰でもかまいません。「私のところこんな電話がかかってきた」など話題になれば、事前に注意することもできます。

そして家族との会話。何かあったから電話するのではなく、何も無い日に1〜2分でもかまいません。「声が聞きたくて電話したよ」と言える間柄になりましょう。子ども世代は仕事や子育てに忙しく、なかなか親に電話ができません。親世代から電話をすることも詐欺被害防止につながるのです。子どもに余計な心配をかけたくない気持ちはわかります。しかし、被害にあつて本当に心配をかけてしまつ前に、少しずつ会話やコミュニケーションを増やしてみてはいかがでしょうか。



地域の一人ひとりが  
詐欺を警戒しましょう

ローソン堀内店 相川さん



70代の女性が一人で来店し、きよるきよるとして不安そうな様子でした。その後、お金の入った封筒とメモを持ち、携帯電話を見ながらATMで入金しようとしていたのだ、「詐欺かもしれない」と思い、声をかけました。話を聞くと「携帯電話に【有料動画サイトの未納料金があります】と身に覚えのないメールが届いたので、慌ててそこに

記載されていた電話番号に連絡して、請求された16万円の現金を振込もうとしている」とのことだったので、警察に通報しました。

いきなり声をかけるのは失礼かなとも思いましたが、「何かお困りですか?」と声をかけると、相手も安心したように話をしてくれたので良かったです。誰か一人に相談するだけで詐欺は防げる場合があります。皆さんも困っている方がいたら、勇気を出して声をかけてみてください。

※相川さんは、「架空請求詐欺の被害を未然に防止した」として、葉山警察署から感謝状が送られました(町内コンビニエンスストアで初めてのことです)。



一昨年前、「息子にリフォーム費用を援助してほしいと頼まれたので、現金をおろしたい」というお客様が来しました。実は私の父も似た電話を受けていたと聞いていたため「もしかして詐欺では？」と思い、話をじっくり聞くと「息子に確認の電話は折り返していい？」とのこと。「まずは息子さんに確認してください」と助言したところ、息子さんはそのような電話をしていないとのことでした。これにより詐欺被害を防止することができ、葉山警察署から感謝状をいただきました。



最後の砦として

大切なお金を守ります

横浜銀行葉山支店 久保支店長

昔の振込め詐欺は、振込先が遠方だったり、息子と名前が違ったりと不自然な点が多く、そこで詐欺だと判断できました。しかし現在は、バイク便への手渡しや宅配サービスなどお金の受け渡しが多様化しているため、本人が預金を下ろす際に、被害を防止しなくてはなりません。

高額な預金引出しは、①お客様の話をよく聞く、②出金理由の確認、③振込みや小切手の推奨などを窓口で行い、警察への通報なども含めた連携も行っています。円滑な出金ができずにご不便をおかけ

していますが、お客様の大切な財産を守る「最後の砦」としての金融機関の取組みにご理解ご協力をお願いします。

また、窓口には銀行員がいるため、詐欺の犯人はATMに誘導します。

銀行を名乗る電話で「お金が戻ってくる」「ATMを操作する」などの話は、必ず銀行にかけなおしてご確認をお願いいたします。



特殊詐欺の被害にあうのは、必ずしも高齢者だとは限りません。

郵便局では、皆さんの大切な財産を守るため、詐欺被害防止の声かけを実施していますが、現場の状況に応じて最善の策をとれるよう、日頃から防犯研修なども行っています。

例えば特殊詐欺の電話は、窓口が閉まる頃を狙った午後3時から4時までが多いと言われています。その時間帯に窓口に来て「あせている様子」、「落ち着かない様子」の方などには、年齢や引き出す

金額にかかわらず、丁寧に話を聞くようにしています。

そして大切なのは、お客様の言葉を否定しないこと。

「念のため、私からご家族の方に確認してよろしいですか？」などと提案し、一緒に考える姿勢を大事にしています。まずはお客様に安心していただくのが一番ですね。

皆さんが窓口で接する職員には、何でもご相談ください。お金に関する悩み事など、なかなか周りの人に相談しづらいことも、身近な相談窓口として頼っていただけると嬉しいですよ。



身近な相談窓口として

何でもご相談ください

葉山郵便局 鈴木 窓口営業部長

また、郵便局から注意喚起しているのは、「レターパックで現金を送れ、という指示は詐欺」だということです。現金をレターパックで送ることは、郵便法に違反します。レターパックを販売する際や引き受ける際に、説明や内容品を確認しますが、皆さん改めてご承知くださいますようお願いいたします。

## だまされないプロになる！ 今日からできる詐欺対策

### 1. 在宅時も留守番電話に設定する

犯人は、留守番電話に声が録音されるのを嫌がります。在宅中も留守番電話に設定すると、相手がわかってから話すことができ、安心です。

### 2. 家族の合言葉を決めておく

家族と電話する時には、「ペットの名前」や「結婚記念日」など家族にしかわからないような質問する習慣を身につけましょう。

### 3. すぐに・はっきりと断る

勧誘の電話などは「すぐに」、「はっきりと」断りましょう。話を聞いているうちに、ずるずるとだまされてしまうことがあります。





取材を終えて

私もだまされる可能性が…

\* わかっているけど…

今回の特集記事では、色々な町民の方にお話を聞きました。多くの方が話してくれたのは、「詐欺の手口は知っているけど、実際に対策はしていない」ということ。

皆さん、「私はだまされない」と思っていますか？

私が取材を通して感じたのは、「誰でもだまされてしまう可能性はある」ということ。年齢や性別は関係ありません。私も気をつけないといけないと思いました。詐欺の犯人は、相手を慌てさせ、いつもの冷静な判断がつかないうちにお金をだまします。普段はできていることが、できなくなる「気持ちの隙」を狙われるのです。

\* 誰に相談できるかな

お金のことを人に話すには抵抗があるかもしれません。ましてや家族や友人など、親しい人には知られたくないという場合

もあるかと思えます。私自身もまずは一人で解決しようと考えてしまいます。

しかし、お金に関する判断は、一人で抱え込まないでほしいのです。身近な人に話したくない場合は、信頼できる警察署や金融機関、町役場などに相談してくださいね。

\* すぐに対策できるじゃ

留守番電話の設定や家族との電話での合言葉を決めることは、すぐに始められる対策です。私も家族との合言葉を早速決めました！まずは今月号を読みながら、「詐欺の電話がかかってきたら、私ならこうする」などと考え、周りの人と話してもらえたらと思います。

(政策課 高野)



切り取って電話機の近くに貼ってください

# 電話でお金のお話が出たら 家族が警察に相談！



▼▼ 家族などの連絡先を記載してください ▼▼

| 名前    | 電話番号         |
|-------|--------------|
|       |              |
|       |              |
|       |              |
| 葉山町役場 | 046-876-1111 |
| 葉山警察署 | 046-876-0110 |

「携帯が変わった」  
「携帯を落とした」は  
**詐欺**の  
可能性大！

前の電話番号に  
一度電話しましょう